



『君にも、僕にも』

「花かごしま」の会場で見つけたホオズキのオブジェの輝きに魅かれてシャッターを切りました。血脈の鼓動が聞こえそうだと「君にも、僕にも」と名づけた作品は、県内421点応募中、上位8点に入賞し、来年の全国高校総合文化祭写真部門に出品できるようになりました。

県高校写真展 写真専門部賞 全国大会派遣



市屋 静代さん (情2-3 山田中)

県作文コンクール特選

- 特選 出水 美里 (情2-4 帖佐中)
- 入選 東村 梓 (普3-2 蒲生中)
- 小濱望由季 (普1-1 重富中)

夏休みの課題作文の中から、各学年一編ずつ選出し応募しました。出水美里さんは、殺処分になる運命の動物の命を一つでも多く救おうと、「救いたい一つの命」と題して、社会的提言や思いを述べました。特選作品は12月に発行される、県の作文集「かごしま」に掲載されます。



出水 美里さん (情2-4 帖佐中)

県高校弁論大会 優秀賞



樋渡さよ子さん (普3-2 帖佐中)

参加高校15校の中で最後に弁論しました。「農業を引き継ぐ」という演題で、卒業と同時に滋賀県の農園に就職し、現代の若者らしい問題意識を持ちながら、日本の農業を引き受けていく決意を訴え、賞状と楯をいただきました。

迫力 ナマの 女性ボーカル 芸術鑑賞会

10月21日(金)

CocoRo*Co (ココロ*コ) さんによるゴスペル演奏を堪能しました。スピリチュアルな歌声と美しいハーモニー、そしてユニークなステージトークに体育館も大盛り上がり。本校生徒との合同演奏「Oh Happy Day」を含む全13曲を通し、ゴスペルの世界を全身で感じることができました。



歌ったり、踊ったり、体育館が笑顔でいっぱいになりました。最後は子どもたちからお礼に「線路は続くよどこまでも」の全員合唱をプレゼントしていただきました。演奏会の後、子どもたち全員からお礼のことばが綴られたあたたかいメッセージをいただき、吹奏楽部員にとっても大きな励みとなったようです。これからの吹奏楽部のさらなる活躍に期待！ (H.23.11.6 南日本新聞に紹介)

PTA親子ふれあい清掃

8月27日(土)



残暑の中、保護者の方約150名を超える人数が集まり、皆さん時間いっぱい取り組んで下しました。体育祭に向けて快適なグラウンド整備になり、生徒たちもありがたく感謝していました。

教育相談をご活用ください

臨床心理士の先生が月2回(金曜)来校し、様々な相談に対応して下さいます。生徒はもちろん、保護者や先生方もOKです。1日に4人。学校の先生や親にも言えない思いや苦しきなど、話してみてください。申し込みは、担任や係の先生へ予約を。

いっしょけんめい

2年生 職場体験

3日間という限られた時間の中で、生徒たちは多くのことを学びました。保育士という自分の夢がより明確になった人、高齢者施設で出会ったお年寄り



りと向きながら別れを惜しんだ人、働くことの厳しさを実感し親への感謝を新たにした人など、事業所によってその内容は様々ですが、どの生徒の表情も生き生きと輝いていました。貴重な機会を提供して下さいました各事業所の皆様に心から感謝いたします。



クイズで巡る

性化につなげようと、生徒が企画したものです。『不思議の町、蒲生に眠るお宝を探せ!』と題して、伝説体験、歴史体験、商店街散策の3コースを設定、クイズや劇、読み聞かせを交え、蒲生の良さを伝えました。生徒たちが蒲生町について深く知ることができたことはもちろんですが、後援の依頼を快く引き受けてくださったり、特産品を提供していただくなど、多くの方に支えられて、成功につながりました。(H.23.8.31 南日本新聞に掲載)

蒲生のお宝さがし

情報処理科「ウォークラリー」 8月27日(土)

情報処理科の「課題研究」授業の一環として実施しました。「地域の活性化」をテーマに調査研究と実践に取り組み、蒲生町の良さをPRし活



関係したみなさん

吹奏楽部出演

三船小学校音楽鑑賞会

10月30日(日)

三船小学校からの依頼を受けた吹奏楽部16名が、今年流行した「ママルモリ」など7曲を演奏しました。動きのあるマーチングや、各楽器の特性を生かした楽器紹介など、小学生に喜んでもらえるように部員全員で様々な工夫を凝らしたステージを展開。三船小学校の子どもたちは、吹奏楽の演奏に合わせて、

<メッセージの一部>

わたしはトトロのえんそうがすごくきれいだとおもいました。わたしもがきをひきたいです。またきてください。

(小1年生 M)

生涯学習県民大学

オカリナで舞台へ

学校の持つ人的・物的教育機能を活かし、地域に開かれた場とする「生涯学習県民大学」が、今年度は美術と音楽を提供し、15人が受講しました。9月7日開講し、前半は美術の米倉先生指導による「絵馬」作成。そして後半に使う伝統楽器「オカリナ」の絵付け・色塗り。後半は音楽の杉園先生指導による「歌唱とオカリナ演奏」。秋の夜はもう真っ暗でしたが、懐かしい日本の名曲などにも触れながらの、毎回楽しい2時間でした。10月26日までの8回を卒業したところで、11月3日、大楠祭の舞台に立って、3曲を披露し、拍手を浴びました。

